

令和3年度「志教育」実践事例

「みやぎの志教育」～私たちを取り巻く環境～

宮城県貞山高等学校

テーマ 私たちを取り巻く環境（「貞山高校の探究」・「宮城を知る」）

対象 第1年次（60名）

位置づけ 総合的な探究の時間（2時間配当）

ねらい

- ①貞山高校での生活を振り返り、自分自身の成長を確かめ、そして貞山高校の良さとは何かを改めて考えさせる。
- ②自分たちが住んでいる地域や宮城県について、再確認して郷土の様子を振り返り、その上で郷土の良さとは何かを考えさせる。
- ③自らを取り巻く環境を再確認することで、集団や社会の一員としての役割と責任を自覚させる。

使用教材 オリジナルのワークシート

学習の概要

1. 貞山高校の探究（ワークシート利用）

- 学校長名・担任名・校訓
 - ・校訓「自立・友愛・創造」に照らし合わせて、「自分自身でできるようになったことは何か」「人間関係の中で成長を感じたことは何か」「将来に向けて、「こうしていこう」を思うことは何か」を振り返る。
 - 中学時代の自分と比較してどのように成長したかを確認させる。
- 行事・部活動・授業
 - ・行事や部活動、授業への取組を振り返る。
- 学校生活で特に力を入れていること
 - ・自らの頑張りを振り返り、今後の学校生活の糧にする。
- 貞山高校の良さを再確認
 - ・「貞山高校の良いところ」を3つあげ、クラスで発表し合い、意見交換する。
 - お互いの意見を尊重しながら、貞山高校をより良くしようという意識づけをする。
 - 「貞山高校」を大切にする気持ちを育む。

2. 宮城を知る (ワークシート利用)

- 「みやぎ」の名前の由来・県知事名
- 現在自分が住んでいる市町村名とその名前の由来・首長名
- 宮城県の高校が全国1位となった競技は？
- 宮城県が全国1位のものは？
- 宮城県の有名なもの・宮城県出身の有名人・宮城県の有名なお祭り
- 宮城県の方言を知っている？
 - ・ づらい、おしよすい、おどげでねえ、めんこい、がおる、たごまる、おだづ
 - 宮城県について、楽しみながら意見を出し合うことで、コミュニケーションを図る。
- 宮城県の良さを再確認
 - 「宮城県の良いところ」を3つあげ、クラスで発表し合い、意見交換する。
 - 郷土を大切に、地域に貢献しようとする気持ちを育む。

成 果 距離を保った話し合い等、制約がある中で、生徒たちは楽しみながらワークシートに取り組んだ。自分たちが通う「貞山高校」と郷土である「宮城県」の特色や良さを再確認することで、地域への愛着や地域貢献と、集団や社会の一員であるという意識づけをする良い機会となった。また、「志教育」の重点指導事項である「人とかかわる」「よりよい生き方をもとめる」「社会での役割をはたす」のいずれの項目にも該当するバランスの良い学習となった。

今後の課題 今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な学校行事の削減や縮小、方法の変更や工夫を余儀なくされた一年であった。同様に、学習の場面でもペアワークやグループワークも距離をとったものとなり、新しい様式が求められた。総合的な探究の時間に行った今回の活動も、個人がワークシートを記入して、クラス内で意見を交換するという形をとらざるを得なかったが、今後も改善と工夫を重ね、さらに楽しく、取り組みやすく、実りあるものにしたい。